



# 双塔

カトリック新潟教会

2026年5月

No. 455

## 『ご誕生のおとめ聖マリア』

主任司祭 田中 丈夫

現在の司教座聖堂が献堂されたのは 1927(昭和 2)年。聖堂の入口の柱に『新潟司教座聖堂祝別—誕生のおとめ聖マリアのご保護のもとに』と書いたプレートが貼られている。それより遡ること 42 年、1885(明治 18)年にパリ外国宣教会のドルワール神父によって最初の聖堂が現在の地に建立された。その聖堂は《ご誕生のおとめ聖マリア》と呼ばれたが、この名前にはどのような思いが込められていたのだろうか。竹下節子著『カトリックの缶詰—フランスと日本のはざままで—』を参考にして、探った。

『1865年3月17日、十数名の男女が建てられて間もない大浦天主堂を訪れ、パリ外国宣教会のプチジャン神父に「わたしたちは皆、あなたと同じ心です」と同じ信仰をもっていることを告げ「サンタ・マリアの御像はどこ？」と尋ねた。この出来事は「信徒発見」として広く知られている。長崎での「信徒発見」がフランスに伝えられた時、カトリック教会が沸き立ったという。フランスでは当時すでに 1597 年に長崎で処刑され、1862 年に教皇ピオ 9 世により列聖された日本 26 聖人への崇敬が高まっていた。』(p114),(『プチジャン神父の手紙』他参照)

『19 世紀のフランスで「日本のカトリック信徒」への思いが高まった背景には、パリ外国宣教会からの報告ばかりではない他の事情もある。それは、1789 年のフランス革命によってカトリック教会がフランスの表舞台から一時完全に姿を消したことだ。それでも民衆の信心を絶やすことはできず、ナポレオンがローマ教会と「親和条約(コンコルダ)」を結んだので、亡命していた修道会なども復歸した。今も続く政教分離の原則が確定するのは 100 年後、20 世紀のはじめのことだ。19 世紀にカトリック教会が再び広がることができたのは、革命で得た教訓から、教会自ら「政治性」を捨てて活動の中心を「霊性と奉仕」に特化したからだ。パリ外国宣教会も、そのように「非政治化」した宣教であったからこそ開国後の日本で受け入れられやすかった。』(p113)。

『フランスには古くから「聖母マリア」にまつわる奇跡譚がたくさんある。ご出現、お告げ、偶然見つかったなどとされるものなど古くから伝わる聖母子像、それぞれの土地の名を冠してさまざまな職業の守護聖女としての崇敬、聖母の髪、聖母のヴェールなどの聖遺物があるし、フランスの守護聖女でもある。言い伝えの中で紡がれてきた信仰の跡地は別としても、フランス革命、産業革命という「近代」になってからさえ、フランスは新しい「聖母の奇跡」をスタートさせた。1830 年のパリのバック通りに始まって、1846 年のアルプスのラ・サレット、1858 年のピレネー山麓のルルド、1871 年のロワールのポンマと続く「聖母ご出現」だ。その後、聖母ご出現は世界各地で報告されたが、1917 年のポルトガルのファティマの後、最新の公認(2001 年)も、1947 年のフランスのルール・ブシャルだった(公認されている 750 のご出現のうち 250 がフランスだ)。近代以降、「迷信」「非科学」として斥けられてきた各種のご出現やお告げなどが、20 世紀後半のニューエイジ運動や学生運動の中で、サブカルチャーのコンテンツとして「市民権」を得たものの、カトリック教会は一步引いた姿勢で慎重になり、新たな「聖母の奇跡」の扱いが明らかに変わった』(p104~p105)。

上の記事と、聖堂の名が《ご誕生のおとめ聖マリア》であることとは関連があるのだろうか。日本のカトリック教会がフランスから大きな影響を受けたことは確かなことのようにだ。

ところで、次のような解説がある。『三博士の礼拝を祝う御公現の祭日こそ、本来のキリスト誕生を祝う日だった。それはギリシア正教はじめ東方教会で今日も守られている…。マリアを表現した古代教会の芸術は、例外もあるが、すべて三博士の礼拝に絞られる。古代教会ではマリアは個人的信心の対象ではなく、従って各自好みのマリア様を表現するということはなかったようである…。当時異教の大都市であったローマで、三博士は教会に導かれてくる異邦人の象徴であろう。そうすると、マリアは教会を表現し、幼子はその教会の中に現存する救い主キリストを意味している。このように三博士の礼拝は異邦の世界に救い主がお現われになったことを意味し、それゆえ「御公現」の祭日といわれることとなった。この日は教皇庁福音宣教省の祝い日であり、またパリ外国宣教会の祝い日でもある。』(和田幹男著『主日の福音を読む』典礼に沿って【A 年】p28~29)

この解説によれば、《ご誕生のおとめ聖マリア》という名前は「教会の誕生」を示していると理解できるのではないか。新潟の地にあって、異邦人を迎える教会の誕生を示しているのではないか。2026 年 9 月 8 日『聖マリアの誕生』祝日の次の主日 9 月 13 日にカトリック新潟教会では誕生 150 周年を祝う。

# インフォメーション!

## ●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

- ①センター掲示板おしらせに掲載しています（外壁ガラス掲示板）のでご覧ください。
- ②「おしらせ」のある方は、9時半主日ミサでのお知らせと掲示板の貼り出し、月刊双塔への掲載をお願いします。（広報部アドレス：soutou1656@gmail.com）

## ●入門講座 主任司祭 田中神父にご相談ください。

## ●聖書勉強会 日時 毎週水曜日 午前10時～ 会場 センター研究室 指導 田中神父

## ●信仰養成講座 日時 毎月第2土曜日 午前10時～ 会場 センター研究室 指導 町田神父

※新約・旧約聖書を使います。各自ご持参ください。

## ●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会：野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 5月18日(月)、6月29日(月)、7月13日(月)、9月28日(月)

時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

※聖堂修繕工事期間中につき、自家用車等で来場の際の駐車については、現場の指示に従ってください。

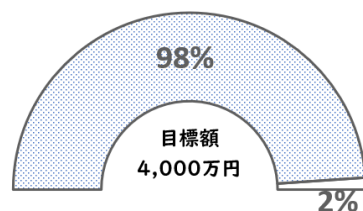
## ●教会維持費などの献金について（小教区評議会）

献金袋が無い方は、聖堂維持費棚の右下に袋があります。各自でご記入の上、日曜日に中央柱の維持費入に入れてください。

## ●聖堂修繕工事のための特別献金のこと（小教区評議会）

聖堂修繕工事のための特別献金 目標額 4,000万円

★2026年3月31日現在 累計額 3,914万円(進捗率：98%)  
(1万円以下四捨五入)



## ●「カトリック新潟教会司教座堂 外部改修工事」のお知らせ（建設・記念事業委員会）

司教座堂の外部改修工事を下記のとおり実施いたします。

工事期間中はご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、安全確保のため、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。※現在の世界状況が工期・作業時間に影響を及ぼす可能性あり

■工事期間：全体工事期間：令和8年4月13日～令和8年9月30日

■作業時間：午前8時30分～午後5時30分（土曜・日曜・祝祭日は工事を休業）

■工事期間中のお願い

- ・工事期間中、倉庫は仮事務所として使用いたしますが、入口右側の資源ごみ置き場はこれまでどおりご利用いただけます。なお、仮事務所エリアへの立ち入りはご遠慮ください。
- ・作業時間中は、安全確保のため聖堂にお入りいただけない場合がございます。
- ・休業中は聖堂をご利用いただけますが、足場付近を通行される際は十分ご注意ください。

## ●インターナショナルデーのお知らせ

今年も、聖霊降臨の祭日にインターナショナルデーを行います。より多くの方の参加が叶うよう、ミサの開始時間を10:00に繰り下げます。（5月24日主日のミサ：7:00、10:00）

## ●クララ会からのお知らせ

「聖フランシスコの年」に当たり、クララ会では5月の聖母月に「教会の母聖マリア」の記念日にフランシスカンのロザリオ、「聖母の7つの喜びのロザリオ」を行います。お祈りの後、分ちあいを兼ねた茶話会も予定しています。参加希望者は、クララ会（TEL025-522-2011）まで連絡下さい。  
・日時 5月25日(月)午後2時から（於：聖クララ会上越修道院）

**高藪修神父様帰天**—新潟教区司祭ペトロ高藪修神父様が4月7日復活の火曜日に88歳で帰天されました。10日通夜、葬儀・告別式が11日司教座聖堂で成井司教の主司式で行われました。新潟、新発田、佐渡、上越の小教区、幼稚園、教区事務局などでお働きになりました。成井司教Facebookより抜粋

## 2026年5月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
1日(金)	・ミサ 10:00 (初金)
3日(日)	<b>復活節第5主日</b> ・ロザリオの祈り (9:00 ルルド前、雨天聖堂) ・小教区評議会 (9:30 ミサ後 研究室) ・英語ミサ (12:00) ・清掃日 (センター、外のトイレ: 英語ミサ後)
9日(土)	・信仰養成講座 (10:00 研究室/指導: 町田神父)
10日(日)	<b>復活節第6主日・世界広報の日 (献金)</b> ・ロザリオの祈り (9:00 ルルド前、雨天聖堂) ・総務部会 (ミサ後 研究室)
11日(月)	・司祭静修 (~12日(火))
14日(木)	<b>聖マチア使徒 (祝)</b>
17日(日)	<b>主の昇天 (復活節第7週)</b> ・ロザリオの祈り (9:00 ルルド前、雨天聖堂) ・清掃日 (聖堂、外のトイレ、センター: 9:30 ミサ後) ・国際協力部会 (清掃後 研究室) ・広報部会 (清掃後 事務室) ・ベトナム語ミサ (12:00)
24日(日)	<b>聖霊降臨の主日 (祭)</b> ・インターナショナルデー ミサ <u>10:00</u> (司式: 成井司教) ・ロザリオの祈り (9:45 聖堂前、雨天聖堂)
31日(日)	<b>三位一体の主日 (祭) (年間第9週)</b> ・ロザリオの祈り (9:00 ルルド前、雨天聖堂) ・教会維持費の整理 (ミサ後 事務室)

### ※ ミサ時間

日曜日 (7:00、9:30) 英語ミサ (第1日曜 12:00) ベトナム語ミサ (第3日曜 12:00)  
火曜~木曜、土曜 (7:00) 金曜 (10:00)

★朝ミサ 7:00 は休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

### ※ 聖堂開堂時間

毎日 9:00~18:00 (都合により左記時間が変更となる場合がございます)

月刊「双塔」毎月1回 最終日曜日発行 編集・発行/カトリック新潟教会 小教区評議会 広報部  
カトリック新潟教会 〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656  
<https://cathedral-niigata.jp/> TEL025-222-5024 /FAX025-222-5054

